

## 7 乾乳管理と疾病予防

乾乳期の管理がうまくいかない場合には、分娩後以下のような様々な疾病が発生します。

- ・乳熱
- ・ケトーシス
- ・第四胃変位
- ・胎盤停滞

\* 疾病の多くは分娩前後に集中しますので乾乳期間の飼養管理が重要になります。

乳熱（低カルシウム血症）から始まる乾乳後期のミネラル代謝の乱れは、①血中カルシウムの低下、②食欲不振やルーメン運動など平滑筋の機能低下を起こします（図3）。

これが第四胃変位（いわゆる“<sup>よんべん</sup>四変”）等の誘因となり、さらに飼料摂取量の低下によるケトーシスの発症やエネルギー不足による繁殖効率の低下等も促します。

分娩後に搾り始めて、乳量が最大になる時期に、疾病が起こると、治療にかかる費用、手間など大きな経営的・精神的損害を被ることになります。

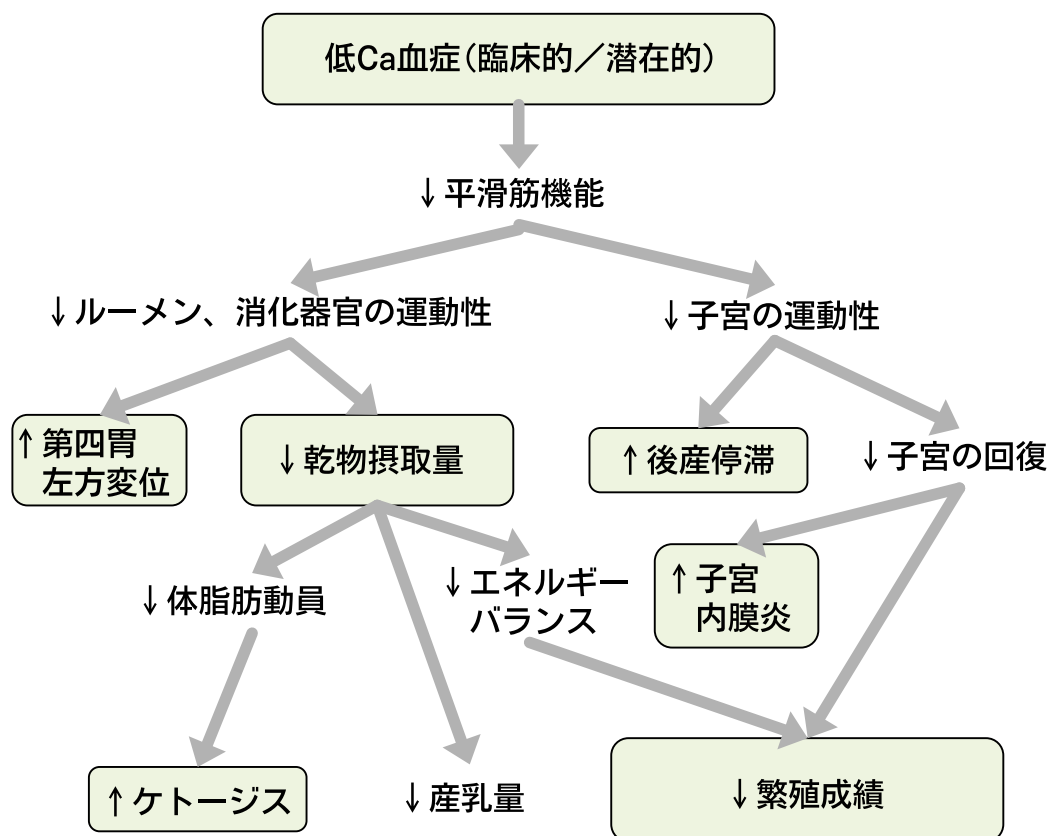


図3 分娩直後の低カルシウム血症と関連した障害の因果関係 (Beede,'95)

### < 疾病にさせないための対策のポイント >

- ・ 良質な粗飼料を飽食できる状態にする
- ・ 乾乳前期・後期に分けて栄養濃度とミネラルバランスを取る
- ・ 分娩場所は、滑りにくく、ベッドは敷わらを多く入れて乾いた場所を確保する